

名前記入 性別欄設けず／首にのど仏隠すタオル

心と体の性が一致しない
性同一性障害（GID）当

事者で、日本心理学会認定
心理士の伊藤純さん（空知
管内栗山町在住）が、GID
Dの人が安心して通える美
容室や化粧品店などをホー
ムページ（HP）上で公開
している。伊藤さんは「悩
みを抱える人が安心して社
会と接点を持てるよう、協
力店を増やしていきたい」
と話している。

（北里優佳）

「GIDに優しいお店」と
して、伊藤さんのHP（http://hokkaidoshinri.web.fc2.com/）内で、同町内や札幌市
内の理美容室、化粧品販売店
など14店舗を紹介している。
いずれも、伊藤さんが利用
している店舗や協力依頼のメ
ールに応じた店舗だ。難しい
対応は必要ないが、少しかけ
配慮してもらえらうよう、伊

HPで美容室や化粧品店紹介

性同一性障害に配慮

藤さんはアドバイスしてい
る。

具体的には、当事者が望む
性で接することやどうしても
必要でない限り、名前記入カ
ードなどに性別欄を設けない
こと。美容室では、のど仏が
目立たないように首にタオルを
巻く配慮があるとうれしいと
いう。

男性の体で生まれた伊藤さ



「お客さんの悩みを一つで
も解決できたら」と話す確
井店長（右）と伊藤さん

心理士の伊藤さん「協力店」呼びかけ

んは、18歳でメイクを始めた。
やり方を教わろうと百貨店を
訪ねたが、店員が戸惑ったり、
ったと言った。

人の目も気になり、思い通り
の化粧ができるまで何軒も回
店に登録した、化粧品のカ
バーマーク（大阪）は、「肌
は、伊藤さんのHPへ。

病気や障害を抱えていても、安心して利用できる「心
のバリアフリー」店舗は、さまざまな形で広がっている。
NPO法人「認知症フレンドシップクラブ」（石狩管
内当別町）は、認知症患者や家族が気兼ねなく利用できる
店舗を認定している。現在、札幌や岩見沢の飲食店や
図書館の食品店など7店舗が登録している。特別な介助な
どは必要なく、同クラブが開催する研修会に参加した従
業員がいることが条件だ。

認知症患者でもOK 「バリアフリー」店舗

空知管内長沼町のトマト農園「ファーム空」も認定店
の一つ。夏季には一般に開放し、認知症患者や家族も訪
れ、散歩をしたり、農作業を手伝ったり、それぞれに楽
しんでいる。同農園の谷西也さんは「ここでは人の目を
気にせず、自由に過ごしてほしい。本当は、街中どこで
も気兼ねなく過ごせるのが理想なんです」と話す。
店舗の認定については同クラブ ☎01333-253-14
62（ファクス兼、電話は金曜午前10時～午後4時）へ。

の悩みで前向きに生きられな
い人の悩みに応えるのがわか
社の基本。性別にかかわらず、
すべての人が美しくなるた
め、アドバイスしていきたい」
と話す。

美容室うさぎや栗山店も、
伊藤さんからの依頼に快く応
じた。店長の確井映未さんは、
「きれいになりたい、格好良
くなりたいたいという思いは、誰
でも同じ。安心して来店し、
髪を切って気持ちよくなって
帰ってほしい」と笑顔で話す。
伊藤さんは「安心しながら、
専門技術を持つフロアにアドバ
イスを受けられる場所がある
のは、とても大切なこと」と

店舗の賛同を呼びかけてい
る。「優しい店」の登録希望